

3月2日 インドネシア、スマトラ南西方の地震

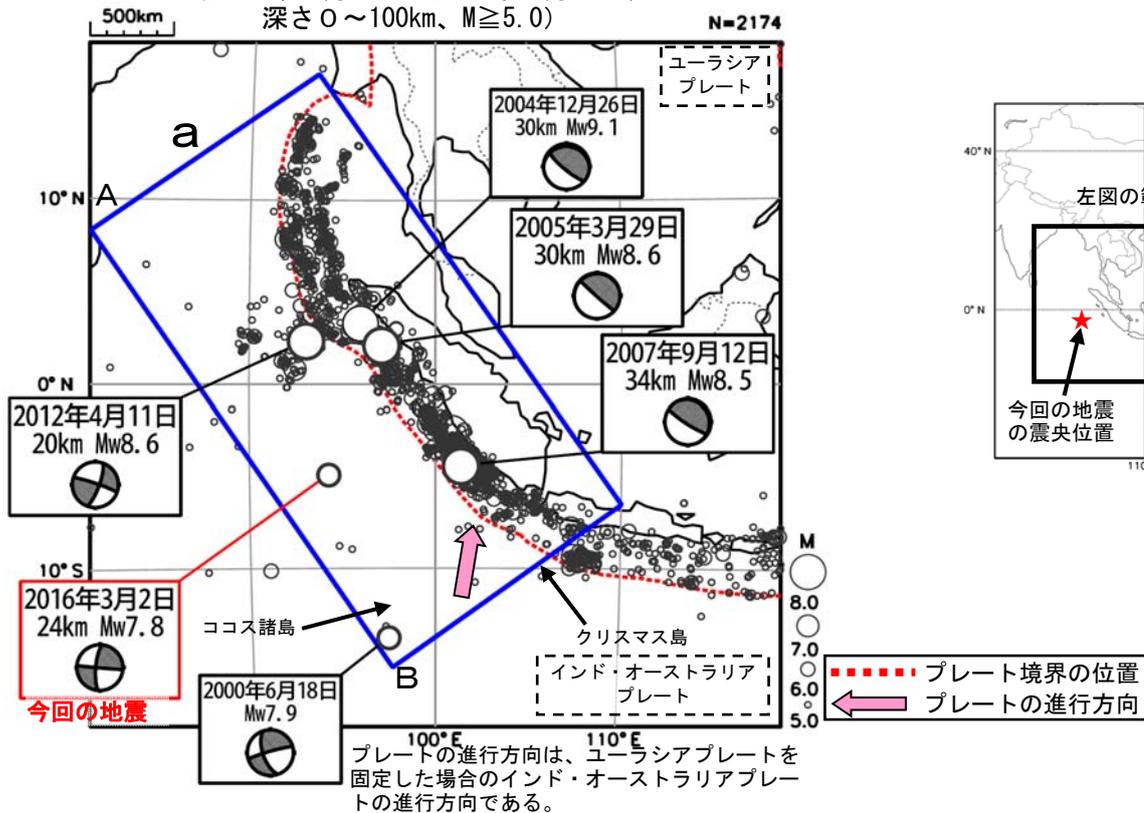
2016年3月2日21時49分（日本時間）に、インドネシア、スマトラ南西方の深さ24kmでMw7.8の地震が発生した。この地震は、ユーラシアプレートの下に沈み込む前のインド・オーストラリアプレート内部で発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は、北東-南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震により、オーストラリアのココス諸島、クリスマス島で微弱な津波が観測された。

領域aでは、2004年12月26日に発生したMw9.1のインドネシア、スマトラ島北部西方沖の地震以降、M7.0以上の地震や被害が生じた地震が時々発生している。今回の地震は、海溝軸の外側で発生しており、プレート境界で発生したMw9.1のインドネシア、スマトラ島北部西方沖の地震の一連の活動とは異なる。

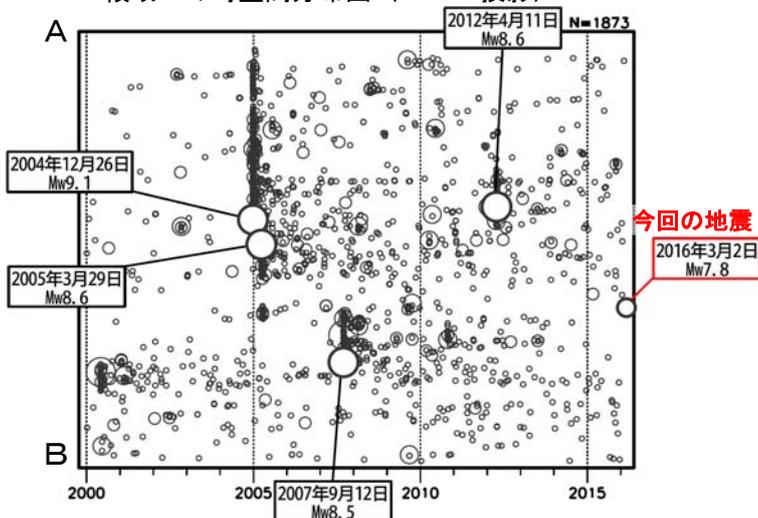
なお、気象庁は、今回の地震について、同日22時21分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響はなし）を発表した。

震央分布図

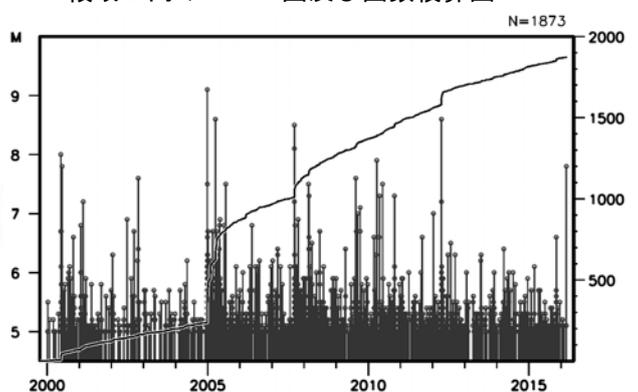
(2000年1月1日～2016年3月3日、
深さ0～100km、M≥5.0)



領域aの時空間分布図 (A-B投影)



領域a内のM-T図及び回数積算図



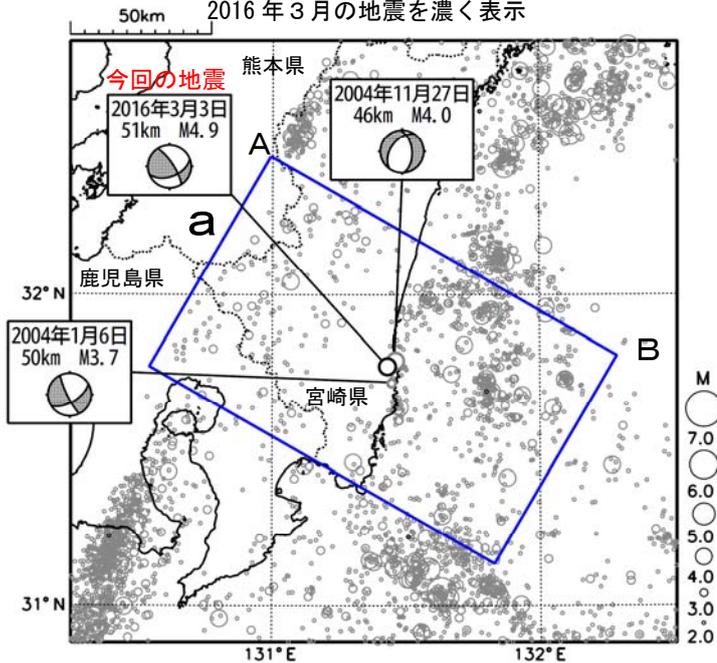
本資料中、今回の地震の発震機構とMwは気象庁による。2012年4月11日の地震(Mw8.6)のMwは気象庁、2004年12月26日の地震(Mw9.1)のMwは理科年表、その他の地震の吹き出しのMwはGlobalCMTプロジェクトによる。震源要素は米国地質調査所 (USGS) による。(2016年3月2日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird (2003) *より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

3月3日 宮崎県南部平野部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2016年3月3日、
深さ30～150km、 $M \geq 2.0$)
2016年3月の地震を濃く表示

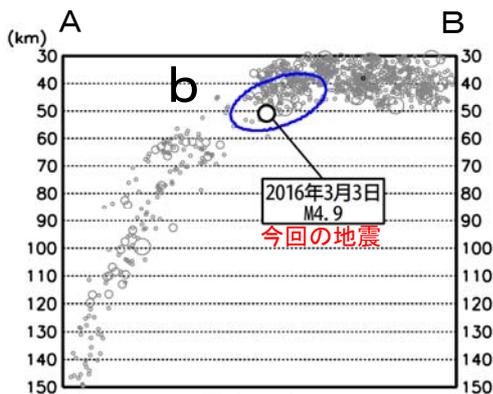


2016年3月3日16時11分に宮崎県南部平野部の深さ51kmで $M 4.9$ の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した。余震活動は低調である。

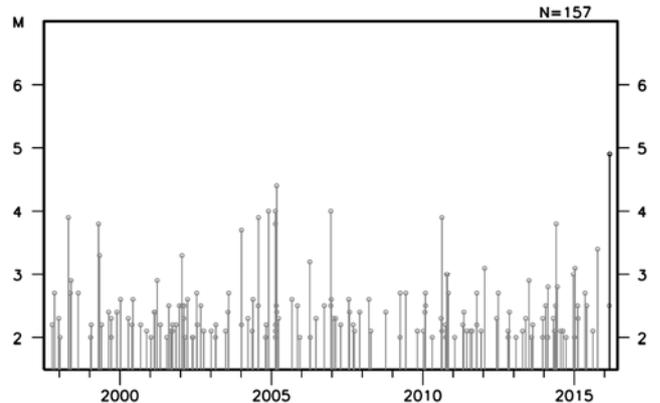
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M 4.0$ 以上の地震が今回の地震も含め、5回発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 6.0$ 以上の地震が10回発生している。最近では、1996年10月19日に $M 6.9$ の地震(最大震度5弱)、同年12月3日に $M 6.7$ の地震(最大震度5弱)が発生し、ともに高知県で十数cmなどの津波を観測している。

領域a内の断面図 (A-B投影)

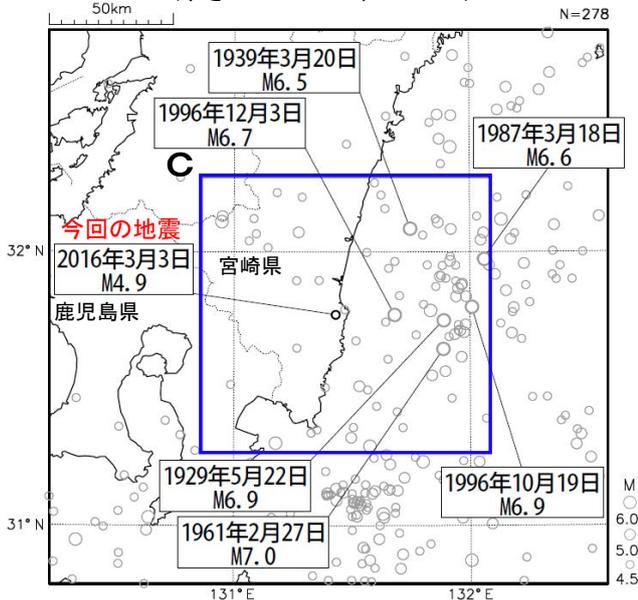


領域b内のM-T図



震央分布図

(1923年1月1日～2016年3月3日、
深さ30～150km、 $M \geq 4.5$)



領域c内のM-T図

